

# ヒアリング評価を通じて得られた特に優れた事例 4

## 不登校の子どもたちが安心できる居場所づくり事業

【事業費総額 1,167 千円 (WAM助成金 1,136 千円)】



どなたでも参加できる土曜開放活動の様子



小学生～高校生向けの幅広い世代間交流の様子

### 団体設立経緯

様々な体験の場を通じて、地域で支え合いながら子育てができるまちづくりに寄与するため、「十勝おやこ劇場」として昭和 48 年に創立され、平成 18 年に法人化しました。

今回の事業では、不登校の子どもたちやその保護者が、学校や家庭以外で安心して自分らしく居られる居場所づくりや地域づくりを構築するために事業を実施しました。

### 事業実施内容

不登校で元気や自信を無くしたり、遊びや学びの機会を失っている子どもたちが、安心して自分らしく過ごせる居場所を提供するため、「アトリエスペース (平日活動)」や「あそび場しゃべり場 (土曜活動)」などを実施しました。

「アトリエスペース」では、昼食づくりやボードゲーム、動画撮影など、子どもたちの主体性を尊重した活動のほか、孤立化しやすい保護者に対しても相談援助事業を実施し、多角的な支援につながりました。

「あそび場しゃべり場」では、自由な遊びと交流の空間を用意し、多様なニーズに対応することができました。また、町内会と連携することで、様々な世代の参加及び交流にもつながり、地域住民の交流の場としても大きく寄与する結果となりました。

### 事業成果

不登校の子どもやその保護者への支援を中心に、延べ 699 名の支援につながりました。特に保護者支援についてはニーズに対し、充実した成果をあげられました。

また、急激に不登校が増える中で、市内全ての小中学校に活動のチラシを配布した他、地域の各関係機関に 650 部の事業成果報告書を配布したことで、マスコミ取材や地域新聞への記事掲載にもつながる結果となり、教育委員会や社協との更なる連携や協働もみられました。

### 同事業に対する評価

行政等とも連携強化を図り、元教員や現役教員もメンバーに加え、専門的知見からアプローチされた点などを高く評価しています。

保護者支援の重要性をいち早く察知し、多角的な視点で支援を行われた点も、不登校支援のモデルケースになりうる取組みだと感じました。活動を通じて得た課題への対応も含め、今後の更なる発展を期待しています。

認定特定非営利活動法人  
子どもと文化のひろばぷれいおん・とかち  
(北海道帯広市)

U R L  
<https://www.play-on-tokachi.net/>

